

転職に関するアンケート 結果報告



アンケート概要

実施期間	2016年9月1日～15日
回答者数	60人
回答エリア	主に九州

回答者内訳

20代以下	5人	8%
30代	29人	48%
40代	21人	35%
50代以上	5人	8%
男性	27人	45%
女性	33人	55%

問1 (自分の)転職を理由に転職・退職をした、もしくは考えたことがありますか？

転職・退職した	22人	37%
考えたことがある	14人	23%
考えたことはない	24人	40%

問2 転職の時期や場所等について、会社や上司に配慮されたことがありますか？

ある	27人	45%
ない	33人	55%

問3 転職の時期や場所を配慮されたことで、会社のために貢献したいという気持ちは変化しましたか？

(注意: 問2で「ある」と回答した人のみピックアップ)

高まった	18人	67%
変化なし	9人	33%
下がった	0人	0%
その他	0人	0%

問4 地域限定正社員へのキャリア変更が可能な場合、現在の給与の何%程度までならキャリア変更を考えますか？もしくは、配偶者に勧めますか？

100%	11人	18%
90%	28人	47%
80%	16人	27%
70%	4人	7%
60%	0人	0%
50%以下	1人	2%

問5 転勤制限が法制化される場合、どのような転勤制限が望ましいですか？（複数選択可）？

（補足：結婚、子育てに配慮するとすれば、子供が何歳になるまで制限？）

(子どもが)3歳まで,	3人
(子どもが)小学校入学まで	16人
(子どもが)小学校3年生まで	7人
(子どもが)中学校入学まで	17人
(子どもが)高校入学まで	11人
(子どもが)高校卒業まで	9人
結婚後3年間まで	4人
その他	8人

問6 今後、夫婦の働き方として望ましい形は、どういった組み合わせですか？

夫A妻A	2人
夫A妻H	6人
夫A妻B	3人
夫B妻H	7人
夫B妻B	2人
夫B妻E	1人
夫C妻C	3人
夫c妻e	1人
夫C妻G	3人
夫D妻B	1人
夫D妻G	1人
夫D妻A	1人
夫E妻B	2人
夫E妻C	2人
夫E妻G	1人
夫E妻H	3人
夫F妻H	1人
夫F、妻E	1人
夫G妻G	1人
E	1人
G	1人
H	1人

- A: 大・中堅企業正社員(転勤あり)
B: 中小企業正社員(転勤なし)
C: 専門職 [医療、福祉、法曹、会計等](転勤なし)
D: 国家公務員(転勤あり)、
E: 地方公務員(限定したエリアでのみ転勤あり)
F: 自営業
G: 個人事業主(転勤なし)
H: パートタイム(転勤なし)

問7 自由記入欄(転勤について感じている課題やあなたの考えなど自由にお書きください)

(女性)

- ・ 転勤が悪なのではなく、個人で選択できることが必要かと思います。そしてキャリア変更で地方限定でダウンするのではなく、転勤することがアップであること。
私自身転勤族の子どもでしたが、転勤についてまわることは必ずしも悪い面ばかりではなく、視野が広がり大変いい経験だったと胸を張って言えます。転勤=悪のような論調に偏らない議論を祈念します。
- ・ いろんな土地に住むことはとってもいい経験になります。
3人の子育てをしましたが、実家が遠くて、大変でした。途中から病気になりました。1人では育てられません。いろんな方に助けていただきました。
- ・ 待機児童問題や夫婦の働き方はもちろん、子どもの進学を考えると、親戚などにも頼れない転勤族の大変さを改めて感じています。いつ転勤の辞令がおりるかかわからない中、働きたくても働けない専業主婦がいることをわかってほしいです。
- ・ 転勤族の妻です。現在は子供が小さいため仕事をしていませんが、地域との繋がりや今後仕事をするのを考える上でいつも気掛かりなのが、転勤の辞令が下ってから引っ越すまでの期間の短さです。仕事や習い事、地域の手伝いなどをしていて「夫が転勤になったので、今週で辞めさせてください」という状況は転勤族の妻の間ではよく聞きます。お世話になった方にろくにご挨拶できず不義理をしてしまうことや、月謝や会費、入園入学の手付金など払ったお金が戻らないようなこともあります(こういった状況のため、転勤族の妻は雇わない、転勤族の子とは友達付き合いさせないという話も聞きます)。
そんなとき、自分や子供は夫の添え物でしかないのだろうかと悲しくなることがあります。転勤を知ってから引っ越すまでに、せめて1~2ヶ月程度の猶予があれば、円満に退職したり、慣れない街で支えてくれた方にきちんとご挨拶ができるのにと思います。
転勤があること自体は承知して結婚しましたし、転勤生活は悪くないと思っていますが、家族にも生活がありコミュニティを持っていることを企業がもう少し気づいてくれたら嬉しく思います。
- ・ 地元に店舗が複数あるのに、全国転勤は辞めてほしい。
- ・ 子供の幼稚園でいい園に入れることができないのではないかと不安。子供の友達との関係づくりが、うまくいくか不安。
- ・ 夫の転勤について家族がどう考えるか(ついていくのか・単身赴任になるのか)
- ・ そもそも転勤って必要なのでしょうか。Q5のように制限を設けるなら、病気や介護などにも配慮が必要です。また配慮の結果、単身者ばかりが否応なく負担を引き受ける制度にならないよう願います。
- ・ とにかく急すぎるので、せめて3ヶ月前とかに発令してほしいです。
- ・ 家族の理解協力がなければ成り立たない
- ・ 一言に転勤族と言っても、勤務先の給与や手当等が会社によって違います。夫の収入がある程度あると妻は専業主婦というパターンが多いように思われがちですが、実際はそうではない方々が今は多いのではないかと感じています。その場合、妻は家計を支えるために知らない土地で職探し。大抵、長く勤めて欲しい会社が多いので、スキルがあっても転勤族だからと断われ、職探しも大変です。子どもがいるとさらに...
働きたくても雇ってもらえない。雇いたくても雇うのは難しい。企業も余裕がないのですね。長く勤められないけれど、働きたい方用の雇用枠が欲しいです。派遣等ではなくて。
- ・ 転勤を機に自分の仕事を見つめ直すきっかけにはなりました。今は夫の転勤に合わせて移動できる正社員ですが、給料は下がってしまっており、モチベーションの維持が困難です。
- ・ もう少し個人のライフプランに配慮がほしい。子供の学校問題、転校などしなくていいように、私学進学が可能なように、配慮が欲しい。
- ・ 子どもの幼稚園や学校のタイミングで転勤できると良いなと思う。
夫婦の出身地が西日本なので、転勤も西日本だと何だか安心できる。
- ・ 転勤族はそれだけで、帰省費用がかさんだり、持家を持たないリスクがあるし、子供の教育環境をととえるのも大変。。それらの負担を軽くしてほしい。

- ・ **転職が不利な年齢**において転勤を命じられると、ものすごく困る。家族に与える影響が大きい。
- ・ 時期や期間を決めてほしい。 **先の予定を立てづらい**。
 - ・ 子どもの入園・入学、卒園・卒業のタイミングを考慮してほしい。
 - ・ 妊娠・出産等、家族の事情を考慮してほしい。
- ・ まだですが、妊娠、出産が大変そうです。 **里帰り出産希望なら手当てとかほしい……**(´Д`)
- ・ 現在、私はAタイプの夫をもち、Gの個人事業主としての暮らしをしています。暮らしは、拠点を2ヶ所にもち、お互いの都合に合わせて移動しながらの日々です。 **毎年、転勤時期になるとドキドキして、その時期は、テンションがおちます**。この暮らしを選んでよかったのは、私は自分のやりたいことをしながら、主人とも暮らせる時間がもてるということです。 **移動時の楽しみを作って、移動が苦にならないようお互いが考えながら動いています**。会社の都合で、家族の人生まで変えてしまうことにならないように **配慮が欲しいと日々** 思っています。
- ・ 夫の転勤で **妻が失業やキャリア寸断を余儀なくされる**
 - ・ それらによる世帯収入減少
 - ・ **妻が思うように働けないことで世帯収入減少**にも関わらず会社からの手当が十分でない
 - ・ マイホーム購入時期の見通しが立たない、希望の時期での購入が困難
 - ・ 継続的な人間関係が維持できない、突如寸断されることによる子どもの心の安定や人格形成への影響
 - ・ 子どもの引越し前の学校との学習指導内容の進み具合が噛み合わないことによる指導内容の漏れ、全国統一して欲しいという声がある
 - ・ 保育園や幼稚園の転園が困難、それにより妻の復職時期に遅れが生じる、保活による疲労の蓄積
 - ・ 中学受験、高校受験、私学受験など希望通りの進路選択が出来ない
 - ・ 転園、転校先での制服やカバンなどの準備品の用意による出費がかさむ
 - ・ **保護者会やPTAの役員が引越しの都度回ってくる、前任地で担当していたとしてと全く考慮されない**という声がある
 - ・ 身寄りのない転勤先での暮らしで **頼れる人がいない**
 - ・ 子どもを祖父母に会わせてあげられる機会が限られる
 - ・ 帰省費用が会社から補填されない場合が多く、多額の出費となる
 - ・ 土地勘がないうちは災害時に逃げ遅れる可能性がある、またどこに避難すれば安全かわからない可能性がある
 - ・ 子どもがいない **転勤世帯の場合、または就業していない妻の場合、人間関係を築く場が限られる**
 - ・ 地域によって保守的、排他的であったりすると地域コミュニティから孤立する
 - ・ **方言や地名が分からないことでのコミュニケーション上の不便さ**
- ・ **何年滞在するかがわからないから、進学や妻の就労に不利**。
- ・ 全国に展開しているコールセンター業界大手であれば、パートでも契約社員でも **転勤先の事業所を紹介している実績があります**。実際に私の勤めている会社がそれです。産休、育休の取得もしている方をお見受けしております。仕事を辞めなければならないという意見を聞いた際に、 **転勤族の妻が働きやすい企業について取り上げられても良いかと感じています**。

- ・夫の転職を理由に妻が仕方なく仕事を辞める友人(子どもがいる人もいない人も)をたくさん見てきました。単身赴任で子どもが幼いとき母子家庭にしたことを後悔する男性上司、先輩の嘆きの声をたくさん聞きました。働き方改革の中の大きな課題が転職。本当に転職しないとキャリアアップできないのか？一会社内でキャリアアップしようとするから転職が問題としてついてくるのでは？仕事以外で自己投資(自己啓発や人間関係を築く、地域活動に参加する等)すれば、仕事にも生きる。長期でいかなくても、数ヶ月の出張で仕事を経験できるように仕事のやり方を変えたらどうだろう？テレワークのようなシステムは使えないか？子育てに手がかかる時期と会社でキャリアアップする時期が30代で重なります。会社のためだけにメリットのある転職。本当にメリットがあるのか？
- ・夫婦とも全国転職ありだったので、子どもが家族みんなでいたい、というやはり妻である自分がキャリアを諦めなくてはいけないのか、と思っていたが、いまは前向きに受け止めてどこでも通用するスキルを身につけようと思った。転職時に主人の転職可能性をきかれて、「転職時はついていくんですね」と毎回きかれるのはつらかった。
- ・転職は自分にとってのチャンスだと思うようにしています

(男性)

- ・特に支店や支社を持つ大企業では新陳代謝のためにも転職は必要な事だと思う。ただ、それを全ての社員に対して同等に求めるのは時代錯誤に感じる。また貴社では辞令の2週間前に内示の決まりなので、もう少し前から伝わる方が好ましいし、その転職が『なぜ必要なのか』『会社にとってのメリット』『その社員にとってのメリット』をしっかりと伝え、転職を前向きに捉えられるような社風になったらと思っています。
- ・会社の仕事の大半は、上司によって人為的に作られてるものだと思う。
- ・大企業では仕方ない面がある。
- ・いくら会社都合とはいえ、やはり働く側のライフスタイルを十分に考慮してほしい。もちろん転職によるキャリアアップという良い側面もあるので、経営者は雇用者と事前にヒアリング等のコミュニケーションをとるといった努力を望みます。
- ・共働きの家庭の場合、夫婦での別の職場でも同時に転職できるような仕組みはできないか。
- ・私の性格、夫婦の形には転職はプラスです。
- ・理屈はさておき、妻や子どもと一緒に暮らし、子の成長を間近で見られないのはとにかく寂しい。今はテレビ電話のようなICTで誤魔化しているが、実際に触れなければその重みも暖かさも伝わらない。単身赴任手当の増額などという簡単な方法ではなかなか解決に至らないだろうと感覚的には思う。個々人の幸せの観念も移ろいゆくものだが、制度として、社会として、しっかりと、かつ丁寧に、背中を押してもらいたいものだ。
- ・転職は、スキル向上や研究のため、仕方がないところがあると思う。しかし、有休休暇や、会社全体の配慮によって働きやすさは、代わってくると思う。会社独自の、規定や制度をもっと世間にアピールする場所や、メディアがあればいいと思う。
- ・周りの人の転職を聞いて、その転職は本当に必要なのか？といつも考えさせられます。家族のことはあまり考えられていない気がします。
- ・親が転職族でしたから、おのずと僕もついてまわること。色んな土地に住む事はなかなか大変でしたね。単身赴任は絶対反対です。
- ・子どもの成長環境を確保するのは親の務め。業務による転居は止むを得ない部分もあるが、極力回避すべき。転職、転居、単身赴任など、いずれもコストが掛かり過ぎる上にその効果も怪しい。慣例的な転職などは以ての外。
- ・転職自体は企業が業績を上げていく上で止むをえないと思うが、例えば新らし支店立ち上げなどで、それを「転職」ありきとするのではなく、従業員の家庭やLIFEを共に考えながら配慮したり、地元採用を行うなど企業側はもっと努力してほしい。
- ・強制的な転職は良くないと思います。会社と個人がお互い対等な立場に立ち、双方が納得した形での対応を強く望みます。
- ・転職をするなら、ある程度の保障があるべきだと思う(家賃の保障+給料UPなど)

以上